

## 平成26年度第1回豊後大野市地域公共交通会議 及び 第1回豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成26年7月11日（金）午後13時30分～

場所：豊後大野市役所 4階 正庁ホール



### I. 開会

事務局：皆さま、お忙しい中、本日の会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。  
ございます。

ただ今より、平成26年度「第1回豊後大野市地域公共交通会議」と「第1回  
豊後大野市地域公共交通活性化協議会」を始めさせていただきます。

本日は最後まで宜しくお願いいたします。

それでは開会に先立ちまして、委嘱状の交付といたします。

豊後大野市地域公共交通会議設置要綱では第4条第1項、豊後大野市地域公共交通活性化協議会規約では第6条第2項に委員の任期を2年と定めておりましたが、人事異動などで役員の改選がありました。

ここで代表としまして、大野竹田バス株式会社 取締役社長の高寄（たかよせ）様に代表して委嘱状を交付したいと思います。



それでは続きまして、会長より挨拶を申し上げます。

## Ⅱ. 会長あいさつ

会 長：豊後大野市副市長の赤嶺でございます。

本日は、ご多忙のところ、本協議会にご出席いただきありがとうございます。さて、豊後大野市は全国でも非常に人口減少、高齢化が進んだ地域でございます。

この高齢化社会の進展に伴い、買い物や通院などに利用する交通手段の確保については、様々な諸問題が生じていたことから、平成15年度から合併前の4つのそれぞれの町村でコミュニティバスの運行をはじめました。

平成17年3月の合併に伴い、名称を「豊後大野市コミュニティバス」として旧4町で運行をしておりましたが、移動に対する地域からの要望が高まったことから、平成21年度に九州運輸局が行った「公共交通活性化総合プログラム」において調査、検討を行い、平成22年度には国の調査事業を使い「豊後大野市地域公共交通総合連携計画」を策定し、平成24年1月より市内全域にてコミュニティバス、三重町と清川町の一部区域にて「あいのりタクシー」の運行を開始したところでございます。

運行開始後も利用状況などを詳細に調査する「モニタリング調査」を継続して行いながら、運行改善をこの協議会合意のもと行いながら、今年度4月より本格運行を開始したところでございます。

これまでの間、バス停コンテストや利用者満足度調査、乗務員のみなさんによ

る乗降調査や自主的に利用を促す「声掛け運動」、利用者の皆さんによる自主的な「一緒にバスに乗ろうえ」といった「声掛け」などの結果、利用者は年々増加傾向となっております。

そういった取り組みが高く評価され、7月2日付けで当協議会が国土交通大臣表彰を受賞しました。

詳細については、後ほど事務局より説明をいたしますが、今回の受賞を受けるまで、ご協力いただいた全ての関係者のみなさまのご理解、ご協力の成果が今回の受賞につながったと考えております。

どうぞこれからも、豊後大野市公共交通の活性化にご協力をお願いいたします。私からのあいさつとさせていただきます。

事務局： それでは報告事項に移りたいと思います。

### Ⅲ. 報告事項

(1) 「平成26年地域公共交通優良団体大臣表彰」受賞について

(2) コミュニティバス、あいのりタクシーについて

(3) 地域協働推進事業について

事務局： 資料説明（省略）

会長： それでは、今の説明につきまして、ご意見ご質問ありましたらお願いします。

下郡委員： 今回豊後大野市さまの表彰に関しまして、運輸支局としましても、改めてご尽力いただきました皆さまに御礼を申し上げたいと思います。今後もこうした活動が継続できるように、引き続き支援等も行っていきたいと思っております。

(4) モニタリング調査について

事務局： 資料説明（省略）

会長： それでは、今の説明につきまして、ご意見ご質問ありましたらお願いします。

特にないようですので、それでは報告案件の最後としまして、昨年度、高齢者の豊かな生活のための地域づくりをテーマに、コミュニティバスを運行している市内、三重町角門地区と千歳町長峰地区にて調査・研究を行った大分大学経済学部大井ゼミのみなさんによる事例発表を行っていただきたいと考えております。

(5) 事例発表

高齢者の豊かな生活のための地域づくり

～大分県豊後大野市角門と長峰地区の事例からの解決案～

大分大学（学生）： 資料説明（省略）



会 長：それでは、今の説明につきまして、ご意見ご質問ありましたらお願いします。  
そうしましたら、地域振興を担当している豊肥振興局の淵主査と、調査にご指導、ご協力をいただいた大分大学の井先生に感想をお願いします。

淵 委 員：マズローの自己実現論のお話は、久しぶりに聞きましたが、そうした自己実現の欲求というのは、潜在的にあるもので、なかなか顕在化しにくいものではないか、と思います。そのため、困難ではあるかと思いますが、何らかの形で施策への反映なども検討できれば、と思います。学生のみなさん、お疲れ様でした。

大井委員：アクティブエイジングについて補足説明したいと思いますが、これは必ずしも高齢者だけを対象とした考え方ではなく、全ての人間は老いていきますので、全ての人を対象としています。そして、人間らしく生きるための必要不可欠な要素の1つとして、移動の問題が取り上げられています。今回の調査の中で、学生が高齢者の方々を訪問した際、最初は戸惑っていても、そのうち生き生きとお話し始める姿が大変印象深く、仕方なく引きこもっている高齢者の方が多く、他者と話しする機会がないのだということを痛感しました。

事 務 局：ありがとうございました。

それでは、発表していただいた学生の皆さんに大きな拍手をお願いします。

#### IV. 議題

##### (1) 議案1 コミュニティバスの変更について

事務局：資料説明（省略）

会長：それでは、今の説明につきまして、ご意見ご質問ありましたらお願いします。

大井委員：1つ確認ですが、現在のバス停位置はどのようになっていますか。

事務局：図面上にて説明（省略）

会長：他にございませんか。無いようでしたら、今回、軽微な修正ということですので、議案1に賛同いただける方は拍手により承認願います。

一同：承認

## V. その他

会長：その他何かご意見ございますか。無いようでしたら事務局へ進行をお渡しいたします。

## VI. 閉会あいさつ

事務局：以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

この後、今回の国土交通大臣表彰の結果を受けまして、市報に掲載するために記念撮影を行いたいと思いますので、みなさましばらくお待ちください。

以上



## 委員出欠名簿

(敬称略、順不同)

	氏名	所属等	出欠	代理出席者	
				職名	氏名
会長	赤嶺 謙二	行政機関(市) 豊後大野市副市長	○		
副会長	神志那 正	住民代表 豊後大野市自治会連合会会長	欠		
委員	坂本 栄喜	豊後大野市コミュニティバス関係者 豊後大野市コミュニティバス運営協議会長	○		
委員	廣瀬 高博	行政機関(県) 大分県豊肥振興局地域振興部部長	代	地域振興部主査	洲 貴美子
委員	大澤 藤和	行政機関(県) 大分県豊後大野土木事務所所長	代	企画調査課課長	後藤 昭彦
委員	堤 政樹	行政機関(警察) 大分県豊後大野警察署交通課課長	○		
委員	脇 紀昭	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体(バス)) 社団法人 大分県バス協会 専務理事	○		
委員	高寄 和弘	一般旅客自動車運送事業者(バス) 大野竹田バス株式会社取締役社長	○		
委員	神品 雄一	一般旅客自動車運送事業者(タクシー)、組織する団体(タクシー)、乗務員 有限会社三重タクシー代表取締役	○		
委員	大島 幸生	運転手が組織する団体 大野竹田バス株式会社	○		
委員	渡辺 信夫	鉄道事業者 九州旅客鉄道株式会社大分支社総務企画課運輸担当課長	代	大分鉄道事業部 運輸 助役	長野 彰夫
委員	芦刈 憲司	地元経済団体 豊後大野市商工会 会長	欠		
委員	真部 直廣	行政機関(市) 豊後大野市教育委員会教育総務課長	代	総務係副主幹	三宮 仁
委員	後藤 和吉	行政機関(市) 豊後大野市高齢者福祉課	○		
委員	羽田 勲誠	行政機関(市) 豊後大野市社会福祉課	○		
委員	衛藤 一郎	行政機関(市) 豊後大野市建設課長	代	課長補佐	後藤 信義
委員	藤元 篤夫	行政機関(市) 豊後大野市まちづくり推進課長	○		
委員	大井 尚司	大分大学経済学部経営システム学科 准教授	○		
委員	下郡 讓治	九州運輸局大分運輸支局首席運輸企画専門官	○		
委員	中菌 裕蔵	九州運輸局大分運輸支局首席運輸企画専門官	代	運輸企画専門官	辻 美貴善

事務局	足立 建士	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係長
事務局	古庄 英之	豊後大野市まちづくり推進課地域振興係